

騒音計・振動計ソフト使い方マニュアル

※注意※

本ソフトは Excel2007 以降のバージョンをサポートするものであり、それ以前の Excel バージョンについては、動作しない恐れがあります。また、将来 Excel のバージョンアップを含むマイクロソフト社が VBA の仕様を変更した場合、一部機能が使用出来なくなる恐れがありますので、ご注意ください。

実行するエクセルファイル名は絶対に変更しないでください。

株式会社アクティオ
EG 通信計測部

発行・改定日	担当者	内容
2017/12/18		初回作成
2024/3/27		使用機器に NL-43、NV-2018/2023 を追加

ご使用前に、計測に使用した機器の型式をご確認ください。

NL・VM系

騒音計：NL-21



CF カード

騒音計：NL-42



SD カード

騒音計：NL-43



SD カード

振動計：VM-53A



振動計：VM-55



NV系

環境表示計：NV-2009/2015/2018/2023



【目次】

ソフトの立ち上げ.....	5
1.「日報・グラフ作成(個別作成)」を開く.....	5
2.騒音・振動のデータを取り込む.....	6
★取り込むデータを間違っソフトがフリーズした場合の対処方法について.....	7
3. 日報とグラフの作成方法.....	8
4. 一括読込ファイルの使用方法.....	11
5. 一括読込で作成したファイルを開いて、日報とグラフを作成します。.....	17
6.測定値の簡易説明.....	19

ソフトの立ち上げ

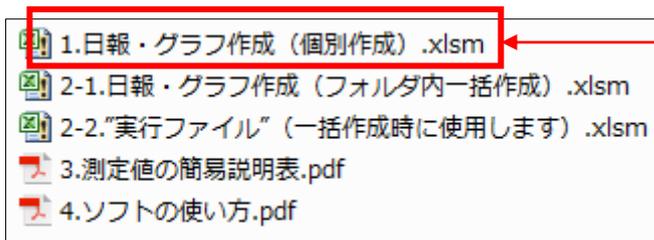
マイクロソフト Excel ファイル 騒音・振動の日報 Ver.1 を開きます。



ファイルが圧縮されている場合は、適宜解凍してご使用ください。

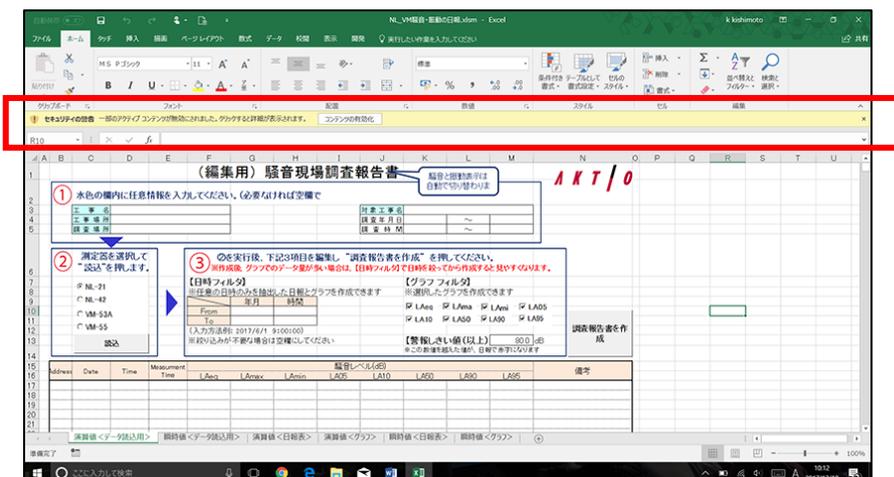
※通常、圧縮ファイルの拡張子は.zip などです。

1.「1.日報・グラフ作成(個別作成)」を開きます。



※注意(セキュリティの警告について)

エクセルファイルを開いた時にセキュリティの警告が出た場合、
コンテンツの有効化を押下して VBA マクロを有効にしてください。



2. 騒音・振動日報の作成方法

2-1.使用する機器(データを取り込む機器)の選択を行います。

(編集用) 騒音現場調査報告書

騒音と振動表示は自動で切り替わります

① 水色の欄内に任意情報を入力してください。(必要な場合は空欄で)

② 測定器を選択して“読込”を押します。

- NL-21
- NL-42
- VM-53A
- VM-55

読込

③ ②を実行後、下記3項目を編集し“調査報告書を作成”を押してください。
※作成後、グラフでのデータ量が多い場合は、【日時フィルタ】で日時を絞ってから作成すると見やすくなります。

【日時フィルタ】
※任意の日時のみを抽出した日報とグラフを作成できます

From	年月	時間
To		

(入力方法例: 2017/6/1 9:00:00)
※絞り込みが不要な場合は空欄にしてください

【グラフフィルタ】
※選択したグラフを作成できます

<input checked="" type="checkbox"/> LAeq	<input checked="" type="checkbox"/> LAma	<input checked="" type="checkbox"/> LAmi	<input checked="" type="checkbox"/> LA05
<input checked="" type="checkbox"/> LA10	<input checked="" type="checkbox"/> LA50	<input checked="" type="checkbox"/> LA90	<input checked="" type="checkbox"/> LA95

【警報しきい値(以上)】 80.0 dB
※この数値を越えた値が、日報で赤字になります

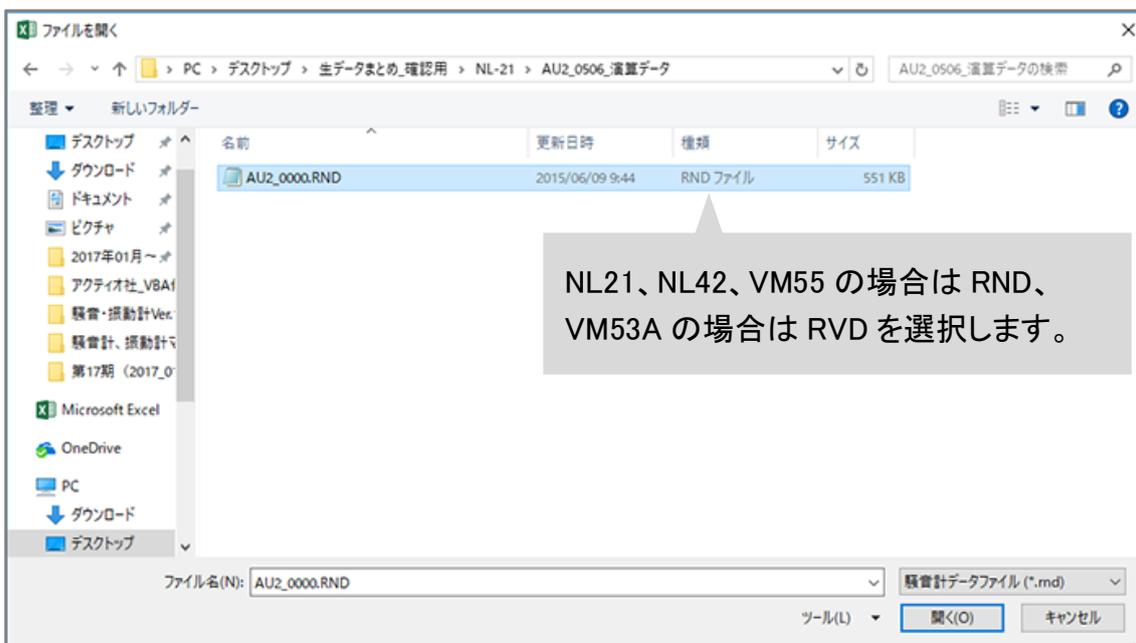
調査報告書を作成

Address	Date	Time	Measurement	騒音レベル(dB)	備考							
				LAeq	LAmx	LAmn	LA05	LA10	LA50	LA90	LA95	

※使用する機器の間違いに注意してください。

2-2.使用する機器を確認し、読み込みボタンを押下します。

2-3.選択した機器の取り込みたいファイルを選択します。



取り込むファイルが保存されているフォルダを確認してください。(次頁)

NL-21、VM-53A の場合

ストアモードをオート1、またはタイマーオート1で測定した際は、瞬時値(データ上では「AU1_4桁数字」となります。

ストアモードをオート2、またはタイマーオート2で測定した際は演算値(データ上では「AU2_4桁数字」となります。

※瞬時値・演算値の同時保存はできません。

NL-42、NL-43、VM-55 の場合

AUTO_LEQ・・・演算値 / AUTO_LV・・・瞬時値

NV2009/2015/2018/2023 の場合

Log から始まる CSV データを選択してください。

2-4.データが取り込まれます。

Address	Date	Time	Measurement Time	L_A05	L_A06	L_A07	L_A08	L_A09	L_A10	L_A15	L_A20	L_A25	L_A30	L_A35	備考
1	H27.5.6	15:49:16	0:10:00	64.5	84.1	54.9	69.4	67.3	62.0	59.6	58.0				
2	H27.5.6	15:59:16	0:10:00	62.1	78.4	55.9	65.4	63.5	60.7	59.1	58.5				
3	H27.5.6	16:09:16	0:10:00	63.1	76.9	56.8	66.5	64.6	62.1	60.3	58.9				
4	H27.5.6	16:19:16	0:10:00	60.5	71.3	54.6	63.5	62.3	59.7	57.9	57.4				
5	H27.5.6	16:29:16	0:10:00	63.2	80.6	57.8	66.2	64.5	62.0	60.3	59.9				
6	H27.5.6	16:39:16	0:10:00	54.4	75.2	47.3	58.9	57.2	51.1	49.3	48.9				
7	H27.5.6	16:49:16	0:10:00	51.1	62.4	47.6	53.9	52.6	50.4	49.0	48.7				
8	H27.5.6	16:59:16	0:10:00	51.1	60.8	47.2	53.9	52.4	50.4	49.0	48.7				
9	H27.5.6	17:09:16	0:10:00	51.0	60.7	47.1	54.0	52.3	50.2	48.8	48.6				
10	H27.5.6	17:19:16	0:10:00	51.4	68.2	46.7	55.0	52.8	50.3	48.8	48.6				
11	H27.5.6	17:29:16	0:10:00	50.9	59.9	47.6	53.4	52.2	50.4	49.1	48.8				
12	H27.5.6	17:39:16	0:10:00	51.0	61.0	46.9	53.6	52.1	50.4	49.2	48.9				
13	H27.5.6	17:49:16	0:10:00	51.3	67.1	47.4	54.1	52.6	50.5	49.2	48.9				
14	H27.5.6	17:59:16	0:10:00	51.7	64.3	46.7	55.7	53.7	50.5	49.2	48.9				
15	H27.5.6	18:09:16	0:10:00	51.0	66.8	47.2	54.0	52.3	50.1	48.7	48.5				
16	H27.5.6	18:19:16	0:10:00	51.0	62.8	47.3	53.2	52.2	50.4	49.1	48.8				
17	H27.5.6	18:29:16	0:10:00	51.0	63.6	46.9	53.7	52.3	50.3	49.0	48.7				
18	H27.5.6	18:39:16	0:10:00	51.0	62.4	47.6	53.3	52.1	50.4	49.1	48.8				
19	H27.5.6	18:49:16	0:10:00	50.9	62.1	46.8	53.7	52.1	50.2	48.8	48.5				
20	H27.5.6	18:59:16	0:10:00	51.7	62.6	47.4	55.1	53.1	50.7	49.2	48.9				
21	H27.5.6	19:09:16	0:10:00	52.0	62.7	47.1	55.8	54.3	50.9	49.1	48.7				
22	H27.5.6	19:19:16	0:10:00	51.5	64.0	46.2	54.7	53.1	50.6	49.0	48.7				
23	H27.5.6	19:29:16	0:10:00	53.4	74.1	47.1	56.6	54.1	50.7	49.0	48.6				
24	H27.5.6	19:39:16	0:10:00	53.2	70.7	47.1	55.8	54.0	51.1	49.2	48.7				
25	H27.5.6	19:49:16	0:10:00	51.7	61.5	46.5	55.3	54.2	50.7	48.8	48.4				

★取り込むデータを間違っソフトがフリーズした場合の対処方法について

Ctrl + break

または

Ctrl + Pause

上記のキーを処理が止まるまで長押ししてください。

3. 日報とグラフの作成方法

3-1. フィルタ&グラフ反映を押下します。(取り込んだデータをそのまま利用する場合)

→全てのデータが反映されます。

3-2. 取り込むデータ数が多い場合(取り込んだデータが 150 行を超える場合)

→必ず日時フィルタで絞り込みを行ってください。

(編集用) 騒音現場調査報告書

騒音と振動表示は自動で切り替わります

① 水色の欄内に任意情報を入力してください。(必要なければ空欄で)

工事名
工事場所
調査場所

対象工事名
調査年月日 2015/05/06
2015/05/06

② 測定器を選択して「読込」を押します。

● NL-21
○ NL-42
○ VM-53A
○ VM-55

読込

③ を実行後、下記3項目を編集し、
※作成後、グラフでのデータ数が多い場合は、【日時フィルタ】
※任意の日時のみを抽出した日報とグラフを作成
From 年月 時間
To
(入力方法例: 2017/6/1 9:00:00)
※絞り込みが不要な場合は空欄にしてください

【日時フィルタ】
※任意の日時のみを抽出した日報とグラフを作成できます

	年月	時間
From		
To		

(入力方法例: 2017/6/1 9:00:00)
※絞り込みが不要な場合は空欄にしてください

【警報しきい値(以上) 80.0 dB
※この数値を超えた値が、日報で赤字になります

調査報告書を作成

Address	Date	Time	Measurement Time	騒音レベル(dB)							備考	
				LAeq	LAmax	LAmin	LA05	LA10	LA50	LA90	LA95	
1	H275.6	15:49:16	0:10:00	645	841	54.9	69.4	67.3	62.0	59.6	58.0	
2	H275.6	15:59:16	0:10:00	621	78.4	56.9	65.4	63.5	60.7	59.1	58.5	
3	H275.6	16:09:16	0:10:00	631	76.9	56.8	66.5	64.6	62.1	60.3	58.9	
4	H275.6	16:19:16	0:10:00	605	71.3	54.6	63.5	62.3	59.7	57.9	57.4	
5	H275.6	16:29:16	0:10:00	632	80.6	57.8	66.2	64.5	62.0	60.3	59.9	
6	H275.6	16:39:16	0:10:00	54.4	75.2	47.3	58.9	57.2	51.1	49.3	48.9	
7	H275.6	16:49:16	0:10:00	51.1	62.4	47.6	53.9	52.6	50.4	49.0	48.7	

演算値<データ読込用> 瞬時値<データ読込用> 演算値<日報表> 演算値<グラフ> 瞬時値<日報表> 瞬時値<グラフ>

3-3. 取り込んだデータの日付と時間を決めて日報とグラフを作成する場合

→日時フィルタに入力した値の範囲で日報とグラフが作成されます。

③ ※作成後、グラフでのデータ数が多い場合は、【日時フィルタ】

【日時フィルタ】
※任意の日時のみを抽出した日報とグラフを作成できます

	年月	時間
From		
To		

(入力方法例: 2017/6/1 9:00:00)
※絞り込みが不要な場合は空欄にしてください

【日時フィルタ】
西暦で入力してください。
例) 2017/05/01

Microsoft Excel

日時フィルタが不正です。

OK

日付の入力値が間違っている場合、左記エラーメッセージが出ます。

【グラフ フィルタ】
 ※選択したグラフを作成できます

LAeq LAmax LAmin LA05
 LA10 LA50 LA90 LA95

【グラフ表示】
 グラフにしたい値にチェックを入れてください。

【警報閾値(以上)】
 dB
 ※この数値を超えたものが、日報で赤字になります。

フィルタ& グラフ反映

【警報閾値(以上)】
 日報で入力した値以上の数値が赤文字に変わります。



騒音現場調査報告書												
工事名			対象工事名			調査年月日			調査時間			
						2015/5/6 ~ 2015/5/6			16:09:16 ~ 17:29:16			
工事場所			騒音レベル(dB)									備考
Address	Date	Time	Measurement Time	LAeq	LAmax	LAmin	LA05	LA10	LA50	LA90	LA95	
3	H27.5.6	16:09:16	0:10:00	63.1	76.9	56.8	66.5	64.6	62.1	60.3	58.9	
4	H27.5.6	16:19:16	0:10:00	60.5	71.3	54.6	63.5	62.3	59.7	57.9	57.4	
5	H27.5.6	16:29:16	0:10:00	63.2	80.6	57.8	66.2	64.5	62.0	60.3	59.9	
6	H27.5.6	16:39:16	0:10:00	54.4	75.2	47.3	58.9	57.2	51.1	49.3	48.9	
7	H27.5.6	16:49:16	0:10:00	51.1	62.4	47.6	53.9	52.6	50.4	49.0	48.7	
8	H27.5.6	16:59:16	0:10:00	51.1	60.8	47.2	53.9	52.4	50.4	49.0	48.7	
9	H27.5.6	17:09:16	0:10:00	51.0	60.7	47.1	54.0	52.3	50.2	48.8	48.6	
10	H27.5.6	17:19:16	0:10:00	51.4	68.2	46.7	55.0	52.8	50.3	48.8	48.6	
11	H27.5.6	17:29:16	0:10:00	50.9	59.9	47.6	53.4	52.2	50.4	49.1	48.8	

AKT/O

演算値<データ読み用> 瞬時値<データ読み用> 演算値<日報表> 演算値<グラフ> 瞬時値<日報表> 瞬時値<グラフ>



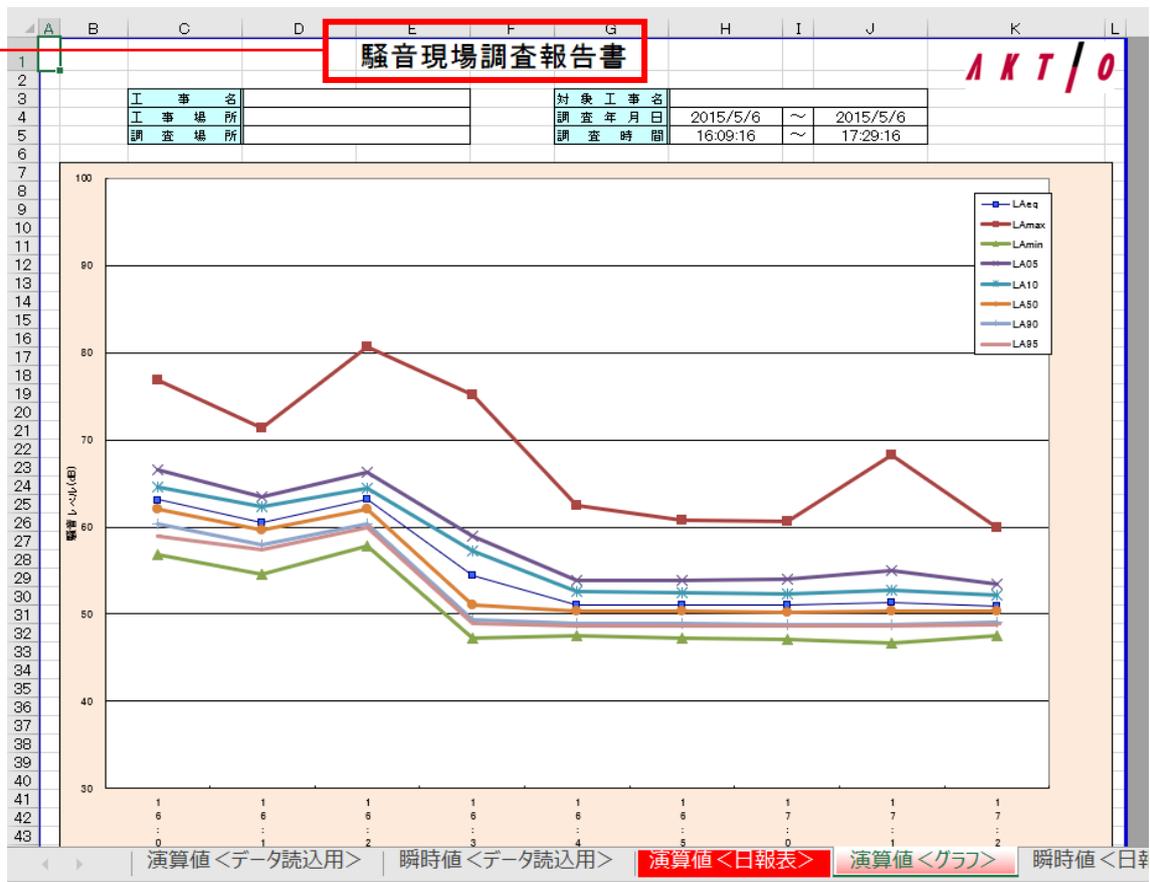
3-4. 作成した日報のシート見出し色が変わります。

例) 演算値を処理した場合

騒音現場調査報告書												
工事名			対象工事名			調査年月日			調査時間			
						2015/5/6 ~ 2015/5/6			16:09:16 ~ 17:29:16			
工事場所			騒音レベル(dB)									備考
Address	Date	Time	Measurement Time	LAeq	LAmax	LAmin	LA05	LA10	LA50	LA90	LA95	
23	H27.5.6	19:29:16	0:10:00	53.4	74.1	47.1	56.6	54.1	50.7	49.0		

演算値<データ読み用> 瞬時値<データ読み用> 演算値<日報表> 演算値<グラフ> 瞬時値<日報表> 瞬時値<グラフ>

3-5. 調査報告書のグラフ

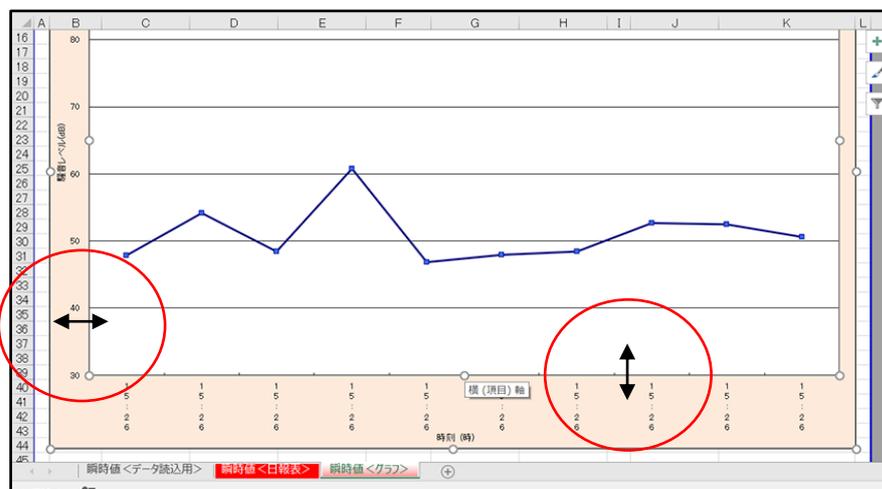


表題の変更について

振動と騒音の名称は機器を選択後、データを取り込んだ時点で自動的に変わります。

グラフの調整について

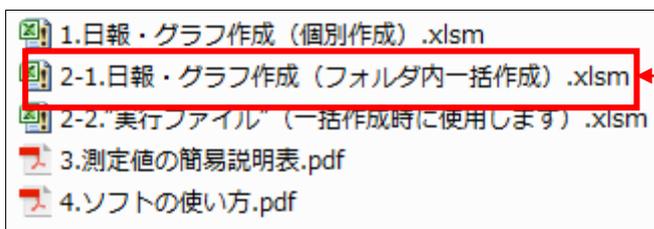
グラフの騒音レベルや時刻の文字が見つからない場合、グラフ内をクリックして調整してください。



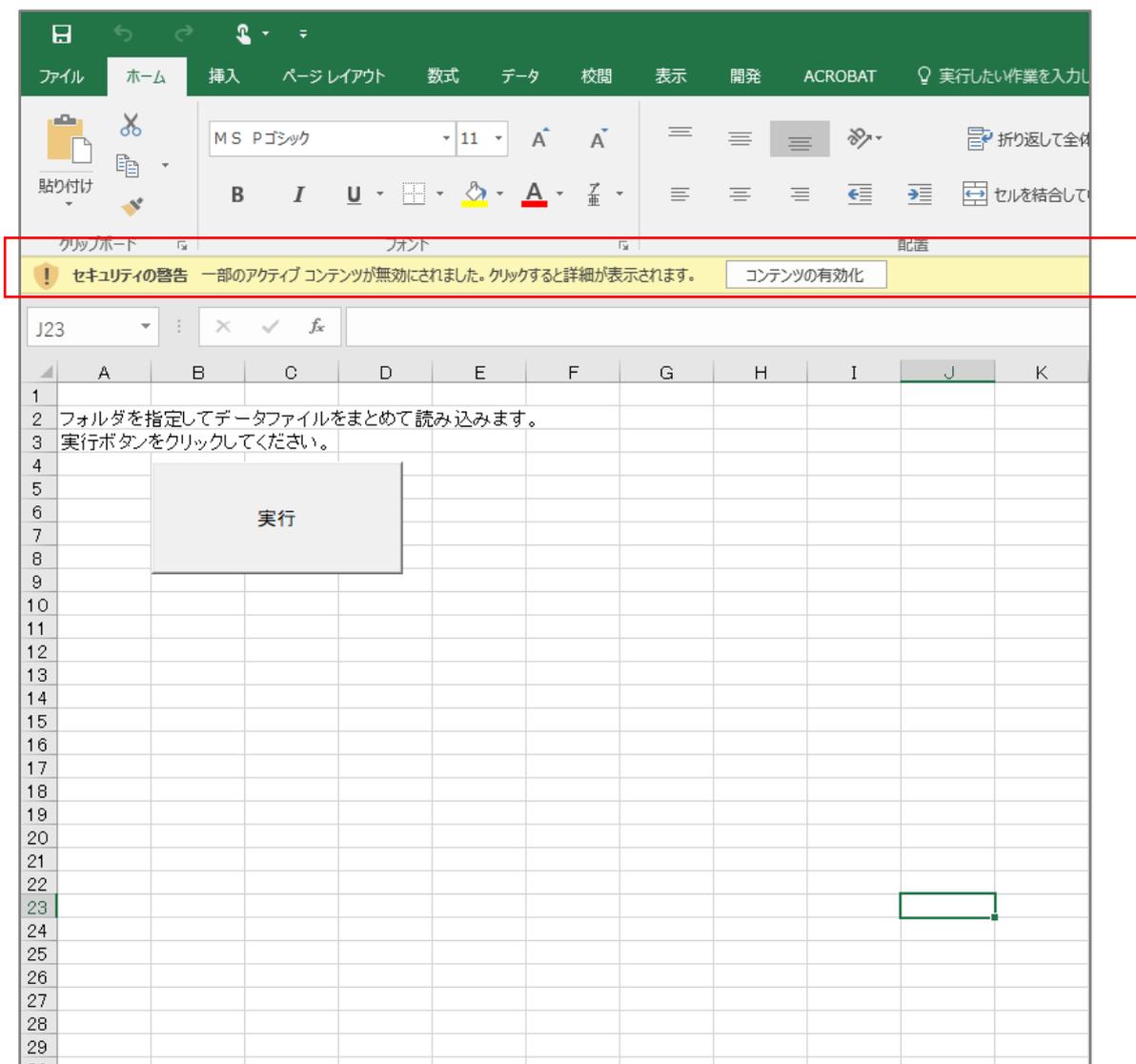
4. 一括読込ファイルの使用方法

4-1. ※一度に複数の出力ファイル进行处理する場合に使用します。

4-2. 「2-1.日報グラフ作成(フォルダ内一括作成).xlsm」ファイルを開きます。



コンテンツの有効化を押下します。



■NL・VM系 の場合

一括読込Form ×

測定データが保存されているフォルダ内のすべてのデータを一括で処理することができます

>測定の際に使用した機械を選択してください


 NL-21


 NL-42


 VM-53A


 VM-55


 NL-43

日報作成を希望する値を選択してください

演算値 瞬時値

①添付ファイル内の実行ファイルを選択してください(一括読込フォルダ内)

※実行ファイル.xlsxm を選択してください。

②測定データが保存されている”フォルダ”  を選択してください

※フォルダ内のデータではなく、”フォルダ”ことです。

③作成した日報表の保存先を選択してください。

※例:デスクトップ
注意:フォルダ内に50個の測定データが入っている場合、
保存先として選択された場所に50個の日報データが追加されます。
大量のデータをまとめて一括処理する場合はデータ保存先用として別にフォルダを作成する事を推奨します。

※ファイル一括読込フォームが立ち上がらない場合は実行ボタンを押下してください。

	A	B	C	D	E	F
1						
2	フォルダを指定してデータファイルをまとめて読み込みます。					
3	実行ボタンをクリックしてください。					
4	<div style="border: 1px solid gray; width: 100%; height: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 実行 </div>					
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

■NV系の場合

一括読込Form

測定データが保存されているフォルダ内のすべてのデータを一括で処理することができます

● NV2009/NV2015

日報作成を希望する値を選択してください

演算値 瞬時値

① 添付ファイル内の実行ファイルを選択してください(一括読込フォルダ内)

※実行ファイル.xlsm を選択してください。

② 測定データが保存されている”フォルダ”を選択してください。

※フォルダ内のデータではなく、“フォルダ”ことです。

③ 作成した日報表の保存先を選択してください。

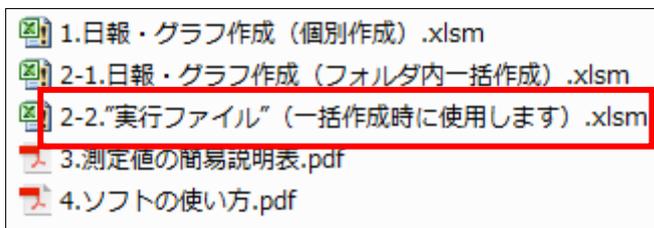
※例:デスクトップ
注意:フォルダ内に50個の測定データが入っている場合、
保存先として選択された場所に50個の日報データが追加されます。
大量のデータをまとめて一括処理する場合はデータ保存先用として別にフォルダを作成する事を推奨します。

4-3. 使用した機械を選択します。

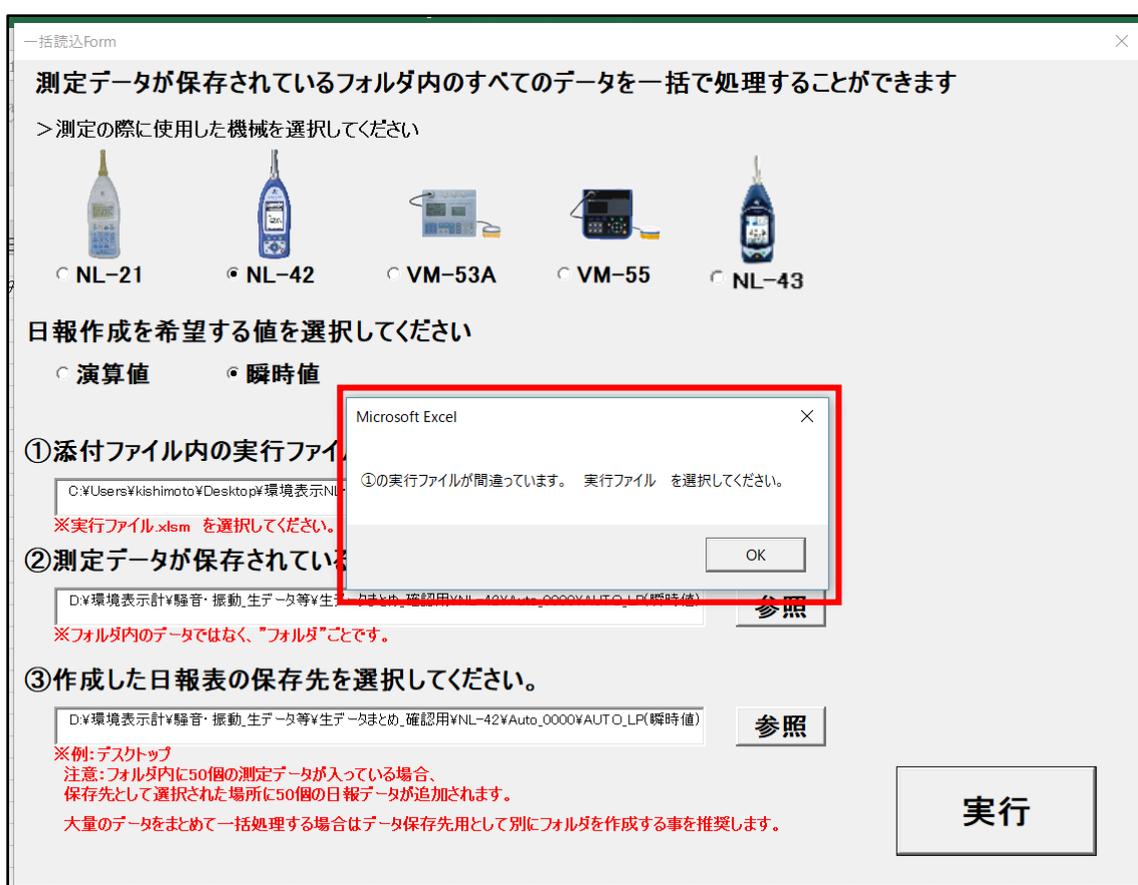
4-4. 演算値または瞬時値どちらの日報を作成するのかを選択します。

※NL-21・VM-53A の場合・・・オート1またはタイマーオート1で計測したデータが瞬時値
オート2またはタイマーオート2で計測したデータが演算値

4-5. ①は、ソフト内「2-2.実行ファイル」を選択します。



実行ファイル 以外を選択した場合、警告が表示されます。

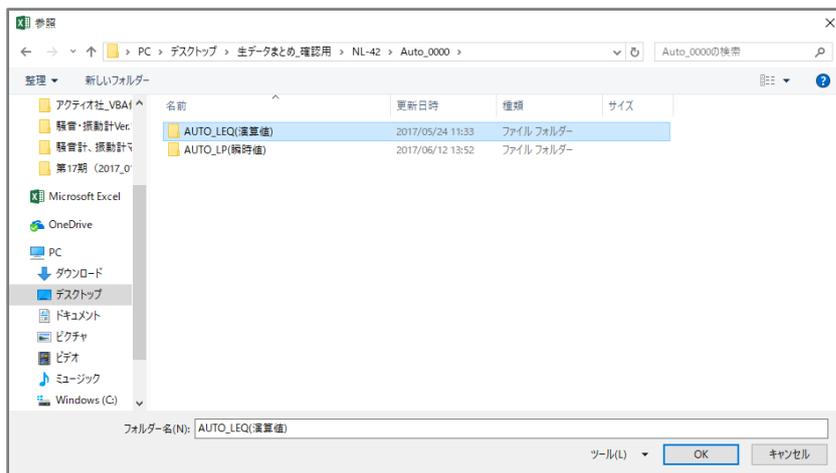


4-6. ②は、一括で取り込むファイルの保存先フォルダを選択します。

(フォルダ内の出力ファイル全てを読み込みます)

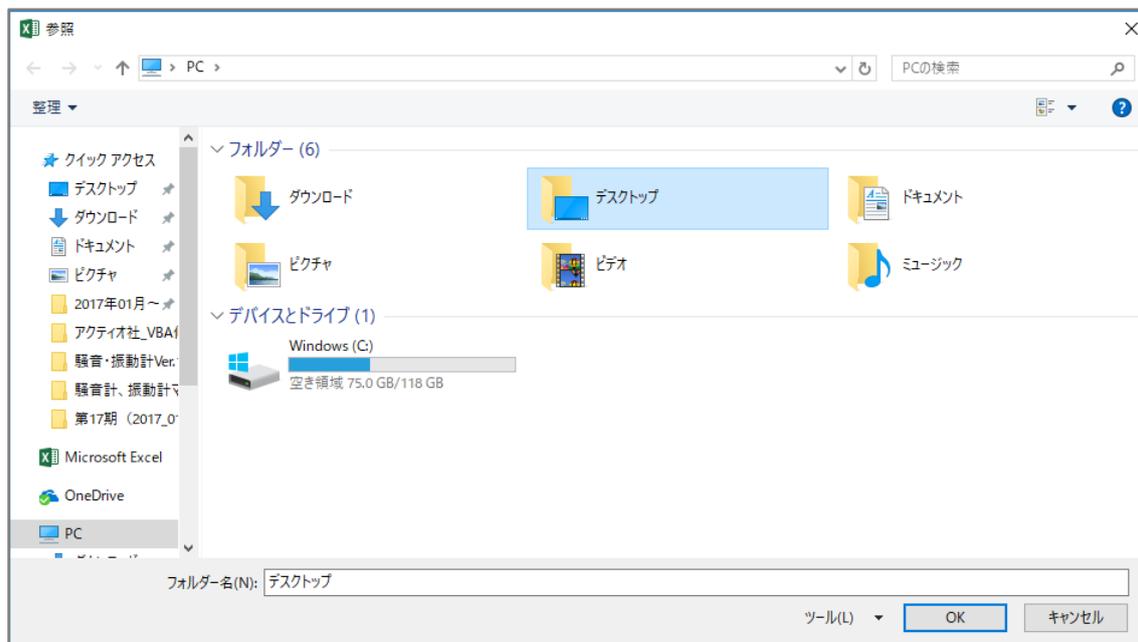
※選択するのは個別ファイルではなく、**フォルダごと**です。

例)NL-42 の演算値フォルダを選択



4-7. ③は、書き出し先フォルダを選択します(ファイルを保存したい場所を選択します)。

例)デスクトップに保存する場合



4-8. 準備が完了したら、実行ボタンを押します。

一括読込Form

測定データが保存されているフォルダ内のすべてのデータを一括で処理することができます
> 測定の際に使用した機械を選択してください

NL-21 NL-42 VM-53A VM-55 NL-43

日報作成を希望する値を選択してください
 演算値 瞬時値

① 添付ファイル内の実行ファイルを選択してください(一括読込フォルダ内)
 参照
※実行ファイル xdsm を選択してください。

② 測定データが保存されているフォルダ  を選択してください
 参照
※フォルダ内のデータではなく、「フォルダ」ことです。

③ 作成した日報表の保存先を選択してください。
 参照
※例: デスクトップ
注意: フォルダ内に50個の測定データが入っている場合、
保存先として選択された場所に50個の日報データが追加されます。
大量のデータをまとめて一括処理する場合はデータ保存先用として別にフォルダを作成する事を推奨し

実行

Microsoft Excel

読み込みが完了しました。
③で選んだ出力先にファイルが作成されていますので、日報を作成してください
このファイルは閉じてください

OK

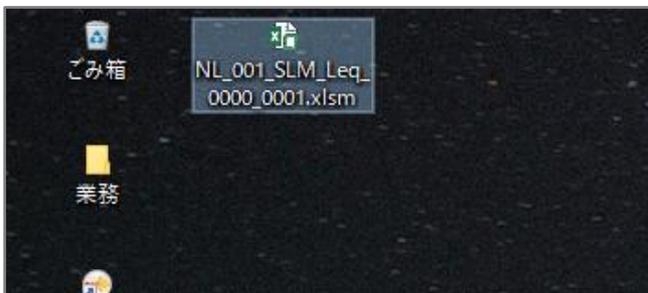
4-9. 一括読込ファイルを閉じます。(③で指定した場所に保存されます)

※一括処理は、フォルダ内の1ファイルずつ処理していきます。

お使いのPCのスペック(性能)によっては、処理ができない場合がございますので、その場合はお問合せください。

5. 一括読込で作成したファイルを開いて、日報とグラフを作成します。

作成方法とフィルタのかけ方は個別の場合(7ページ)と同じです。



5-1. ファイルを開き、日報とグラフの作成を行います。

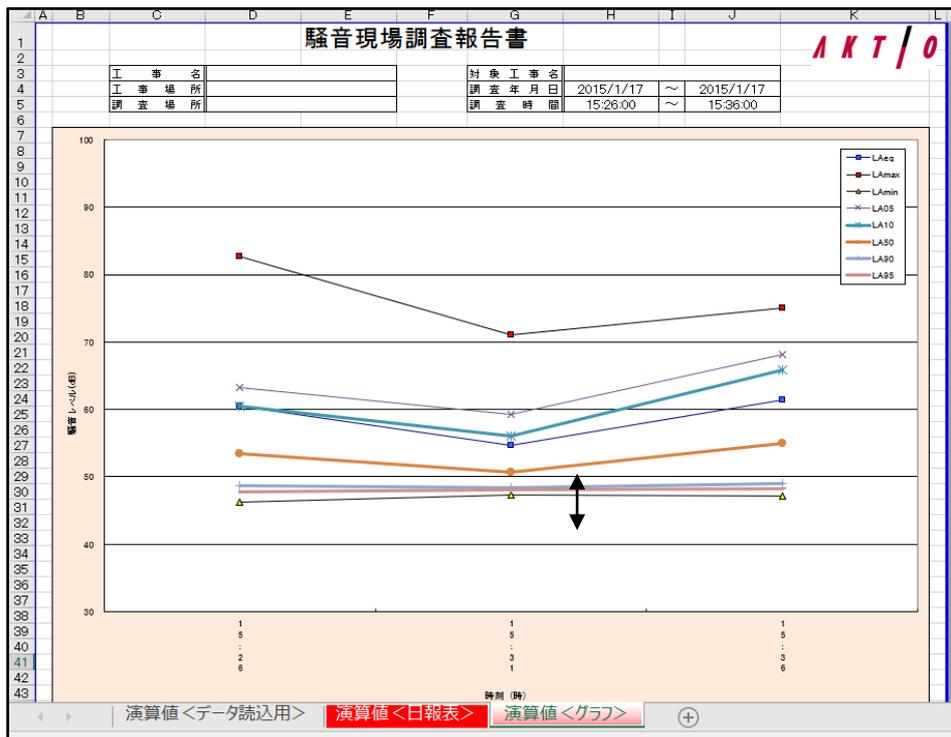
■演算値の場合

騒音現場調査報告書											AKT/O	
工事名				調査場所				対象工事名			調査年月日	
											2015/1/17 ~ 2015/1/17	
調査時間								調査時間			15:26:00 ~ 15:36:00	
【日時フィルタ】			【グラフ表示】			【警報閾値(以上)】						
From	年月	時間	<input checked="" type="checkbox"/> LAeq	<input checked="" type="checkbox"/> LAmax	<input checked="" type="checkbox"/> LAmin	<input checked="" type="checkbox"/> LA05	85.0 dB					
To			<input checked="" type="checkbox"/> LA10	<input checked="" type="checkbox"/> LA50	<input checked="" type="checkbox"/> LA90	<input checked="" type="checkbox"/> LA95	※この数値を超えたものが、日報で赤字になります。					
※任意の日時のみを抽出した日報とグラフを作成できます。(入力例:2017/6/1 9:00:00)											フィルタ&グラフ反映	
※フィルタリング不要な場合は空にしてください。												
Address	Date	Time	Measurement	LAeq	LAmax	LAmin	LA05	LA10	LA50	LA90	LA95	備考
1	H27.1.17	15:26:00	04:00:01.00	60.5	82.7	46.3	63.3	60.5	53.4	48.7	47.8	
2	H27.1.17	15:31:00	04:00:01.00	54.6	71.0	47.3	59.3	56.0	50.7	48.4	48.1	
3	H27.1.17	15:36:00	04:00:01.00	61.4	75.0	47.1	68.2	65.9	54.9	49.0	48.3	

■瞬時値の場合

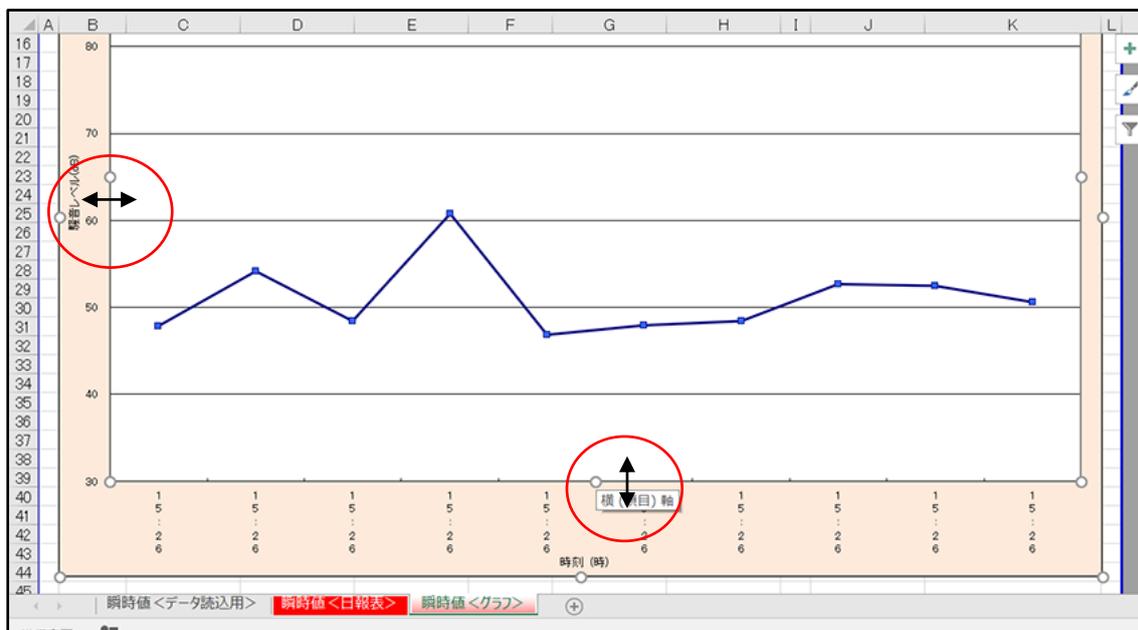
騒音現場調査報告書											AKT/O	
工事名				調査場所				対象工事名			調査年月日	
											H27.1.17 ~ H27.1.17	
調査時間								調査時間			15:26:01 ~ 15:37:00	
【日時フィルタ】			【警報閾値(以上)】									
From	年月	時間	<input checked="" type="checkbox"/> LAeq	<input checked="" type="checkbox"/> LAmax	<input checked="" type="checkbox"/> LAmin	<input checked="" type="checkbox"/> LA05	85.0 dB					
To			<input checked="" type="checkbox"/> LA10	<input checked="" type="checkbox"/> LA50	<input checked="" type="checkbox"/> LA90	<input checked="" type="checkbox"/> LA95	※この数値を超えたものが、日報で赤字になります。					
※任意の日時のみを抽出した日報とグラフを作成できます。(入力例:2017/6/1 9:00:00)											フィルタ&グラフ反映	
※フィルタリング不要な場合は空にしてください。												
Address	Date	Time	Measurement	LAeq	LAmax	LAmin	LA05	LA10	LA50	LA90	LA95	備考
1	H27.1.17	15:26:01		47.8								
2	H27.1.17	15:26:02		54.2								
3	H27.1.17	15:26:03		48.4								
4	H27.1.17	15:26:04		60.8								
5	H27.1.17	15:26:05		46.9								
6	H27.1.17	15:26:06		47.9								
7	H27.1.17	15:26:07		48.4								
8	H27.1.17	15:26:08		52.7								
9	H27.1.17	15:26:09		52.5								
10	H27.1.17	15:26:10		50.6								
11	H27.1.17	15:26:11		49.7								
12	H27.1.17	15:26:12		57.2								
13	H27.1.17	15:26:13		50.0								

5-2. 日報とグラフを作成します。



グラフの調整について

グラフの騒音レベルや時刻の文字が見つからない場合、グラフ内をクリックして調整してください。

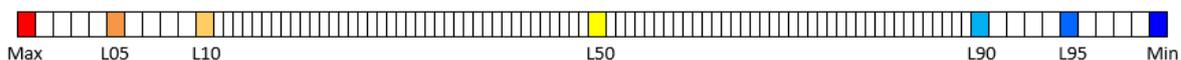


6.測定値の簡易説明

表記	呼び名	簡易説明
LA(V) eq	等価騒音(振動)レベル	測定時間内の音(振動)のエネルギーを平均化した値(平均値)
LA(V) Max	最大値	時間設定した時に測定した値の最大値
LA(V) Min	最小値	時間設定した時に測定した値の最小値
LA(V) 5	5%時間率 騒音(振動)レベル	時間設定した時に測定した値から高い方の5%を除外したあとの最大値 90%レンジの上端値※
LA(V) 10	10%時間率 騒音(振動)レベル	時間設定した時に測定した値から高い方の10%を除外したあとの最大値 80%レンジの上端値※
LA(V) 50	50%時間率 騒音(振動)レベル	全測定値を大小順に並べたとき、全個数の50%目の値 中央値とも呼ばれます (L50≠Leq)
LA(V) 90	90%時間率 騒音(振動)レベル	時間設定した時に測定した値から低い方の10%を除外したあとの最小値 80%レンジの下端値※
LA(V) 95	95%時間率 騒音(振動)レベル	時間設定した時に測定した値から低い方の5%を除外したあとの最小値 90%レンジの下端値※

※90%レンジとは 測定値の高い方と低い方の5%を除いた中央90%の測定値の幅 を意味します。

※80%レンジとは 測定値の高い方と低い方の10%を除いた中央80%の測定値の幅 を意味します。



騒音は、LA5・LA95・LAeq が一般的な測定結果、
振動は、LV10・LV90・LVEq が一般的な測定結果として見られることが多いです。

Л К Т / 0